インターンシップ
プロの技を体験

佐藤　健彦
ネッツ多摩（株）日の出店

私は職場体験で、ネッツトヨタ多摩(株)日の出店に4日間実習をさせて頂きました。

日の出店の方々は全員元気でとても明るく、優しく丁寧に接して頂いたので楽しく学ぶことが出来ました。

ちょうど入社して数ヶ月の方がおり、入社してからの仕事の流れを知ることが出来ました。主に車検や定期点検を行っていましたがタイヤ交換やベルト交換などをスムーズにこなしていて、プロの技術の凄さを感じました。

入社してから少しでも仕事がこなせるように、これからの学校生活でしっかりとした知識を身に付けると共に体力作りも必要だと強く思いました。

竹内　祐貴
（株）イヤサカ

今回、(株)イヤサカで5日間、朝9時から業務終了時間まで販売技術課の同行をさせて頂くことが出来ました。

取引先企業が、ホンダ、富士重工業、アウディ、東京消防庁など大手ばかりで大変身の引き締まる思いでした。

研修期間中ではありましたが、富士重工業の社内で測定機器の打ち合わせに同席し、また、ホンダや東京消防庁では、4柱リフトの定期点検も体験できました。

社員の方々には、大変お忙しい中面倒を見て頂き、とても充実した毎日を送ることが出来ました。

今後、入社までの間に自分自身のスキルを磨き、活躍できるように努力していきたいと思いました。

加藤　舞子
ネッツ神奈川（株）渕野辺店

私はネッツトヨタ神奈川(株)渕野辺店へ実務見学に行き、実際に整備している所や車検をしている現場を見る事が出来ました。

車検をしていた三人の方々が、非常に早くて正確な作業をしており、なおかつとても丁寧な作業には驚きました。

また、お互いに声を掛け合って分担作業をしている姿を見て、一つ一つの作業をしっかりとこなし、自分の作業に責任を持つ事が必要だと分かりました。

そのためにも今出来ることを一生懸命取り組み、日々の授業を大切にして、知識と技術を身に付けたいと思いました。

今回の実務見学で学んだ事をこれからの学校生活に活かしていきたいです。

エコカーカップ富士スピードウェイ

8月7日に富士スピードウェイで行われたエコカーカップHybrid car日本一決定戦に参加してきました。総合順位は60台中10位、30プリウスのノーマルクラスで2位という結果でした。

初めての本コースでの開催で、参加台数も今までで最多、その中でも参加したクラスは最も競争率が高く、そこで好成績を残せたのは非常に良かったです。他のクラスではBMWやLS600hなどパワフルな車種が参加し、とてもエキサイティングなレースで、今までにない盛り上がりでした。

今回、私たちのチームはピットでのドライバー交代が他のチームと比べてとても早く、連携の良さが結果に表れたと思います。クラス1位のチームとの差も4ポイントと僅差だったので、次こそは優勝を狙って頑張ります。

エコカーカップとは

8月のレーシングコース戦は燃費とタイムを競い合ったが、通常行われているショートサーキット戦は複雑なルールで行われている。

全6ステージあり、その合計点で総合順位が決められる。

ステージ1　くじ引き
ステージ2　タイムアタック
ステージ3　給油
ステージ4　15周スプリントレース
ステージ5　35分耐久レース
ステージ6　給油

ただし、ステージ3のみポイントが付かない。ステージ1のくじ引きにもポイントが付くがその点数はかなり低い。この中で配分が大きいのはやはりステージ6の給油量。ステージ4、5で燃料を使いすぎると順位を大きく落とす。しかし燃費ばかりを気にしていると、レースの結果が悪くなる。

どのステージも満遍なく上位を狙わないと順位が上がらない所に難しさがある。

また、車種や改造度合いによるクラス分けが細かく設定されており、車の性能差があってもクラス優勝が狙える。

大会の趣旨は「より安全に参加できるレース！」

次戦はショートサーキットで11月に開催予定。

ヴィッツチャレンジ

ヴィッツラリーはロードレースとは違い、ドライバーとコ・ドライバー（ナビゲーター）二人一組が搭乗しての競技となり、サーキットのような固定の競技場を持たず、一般公道上で行われる競技になります。

通行止めにした林道などでタイムを競うのですが、タイムを測定する林道などをスペシャルステージ（以下SS）といい、SSは林道をはじめ、駐車場を利用したジムカーナ、ダートトライアルコースなど様々な設定があり、街のあちこちに点在しています。

スタート会場よりロードブック（ラリー用の地図）で指定された一般道を通り各SSまでの移動、タイムアタックをします。SSから次のSSまでの移動区間も競技の中に含まれており、ロードブックで指定された道以外を通ったり、指定された時間までにSSにたどり着かないとペナルティーを受けます。全てのSSでのトータルタイムにペナルティーを加算したタイムで勝敗が決まるというWRCスタイルの競技になります。

8月7日（日）長野県野沢温泉村にて開催されたヴィッツチャレンジ第3戦に学生10名、引率職員2名で出場して参りました。

第1戦、第2戦とトラブル等によりリタイヤが続いていたため、今大会はレース前の整備やミーティングに多くの時間を費やし、万全の体制でレースに臨みました。

今回はドライバーに1級4年の土屋、コ・ドライバーに同じく1級4年の村田の1台体制。コースは林道が2本、駐車場でのジムカーナが2本、ダートサーキット場が3本の計7本の戦いとなりました。林道で大きくタイムを離されるものの、ジムカーナではトップタイムを叩き出し健闘。チーム一丸となって臨んだ結果、学生クラスで2位完走を果たすことができました。

次回は10月23日（日）第5戦新城（愛知県）に参戦予定です。これからも精一杯頑張りますので、応援よろしくお願いします。

新入職員紹介

8月1日付けで本校職員として着任致しました和合篤史です。

平成12年に本校専門科28期を卒業し、トヨタ西東京カローラ株式会社で11年間サービスエンジニアとして従事して参りました。これまでの実務経験を活かし、母校で学ぶ学生の「自動車整備士になる!!」という夢実現の為、全力を尽くします。よろしくお願い致します。

和合 篤史 先生